

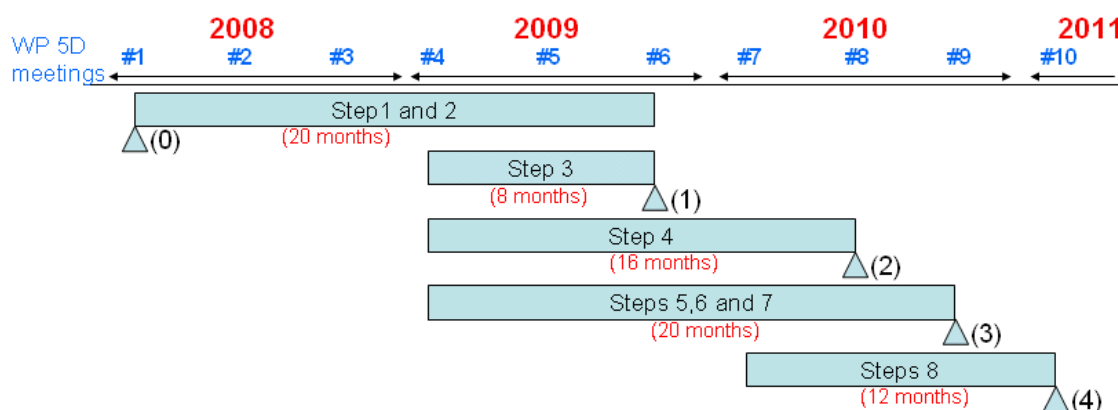
IMT-Advanced 部会の組織変更について

IMT-Advanced 部会

ITU-R において IMT-2000 の高度化と IMT-Advanced の標準化を行っている WP5D は、本年 1 月から 2 月にかけて開催された会合で、IMT-Advanced の無線インタフェース技術提案募集のサーキュラを作成し、その発出について合意した。本サーキュラには、IMT-Advanced 無線インタフェースの基本的な開発プロセス、スケジュール等が記載されており、要求条件、提案の評価方法に関しては、次回 WP5D 会合後に発出される予定である。

合意された主なスケジュールは、以下のとおりである。

- 1) 提案募集開始:2009 年 2 月(WP5D #4)
- 2) 提案締切:2009 年 10 月(WP5D #6)
- 3) 評価レポート締切:2010 年 6 月(WP5D #8)
- 4) 無線インタフェース仕様勧告の WP5D における完成:2011 年 2 月(WP5D #10)



- Steps in radio interface development process:

Step 1: Issuance of the Circular Letter Step 2: Development of candidate RITs Step 3: Reception of the submissions and issuance of an acknowledgement for RIT Step 4: Evaluation of candidate RITs by evaluation groups	Step 5: Review and coordination of outside evaluation activities Step 6: Review to assess compliance with minimum requirements Step 7: Consideration of evaluation results, consensus building and decision Step 8: Development of Radio Interface Recommendation(s)
--	---
- Critical milestones in radio interface development process:

(0): Issue an invitation to propose RITs February 2008 (1): ITU proposed cut off for submission of candidate RIT proposals, to be confirmed by evaluation groups October 2009	(2): Cut off for evaluation report to ITU June 2010 (3): WP 5D decides framework and key characteristics of IMT-Advanced RITs October 2010 (4): WP 5D completes development of radio interface specification Recommendations February 2011	
--	---	--

(ITU-R AH-Circular Letter Document 5D/TEMP/41-E より抜粋)

なお、提案に際しては、自己評価レポート初版を付す(他者が作成したレポートをエンドースすることも可)こととなっており、また、評価グループは、2008 年末までに ITU-R に登録することが要請されている。

以上の状況を鑑み、下記について高度無線通信研究委員会 運営委員会に提案・承認された。

記

1. 無線インタフェース提案検討会の設置

IMT-Advanced 無線インタフェース技術提案案を検討する無線インタフェース提案検討会をIMT-Advanced 部会配下に設置する。検討会は、提案検討に当たっての基本方針の検討から具体的な提案案作成まで行うが、詳細は検討会で定める。

なお、同検討会で作成された提案案は、IMT-Advanced 部会で審議の後、標準化専門委員会(標準化専門委員会での審議は、提案をITU-R への入力寄与文書とする部分に限る)並びに該当する国のプロセス(現状は総務省情報通信審議会)に諮り、ITU-R へ入力することを想定する。

2. 評価グループの設置について

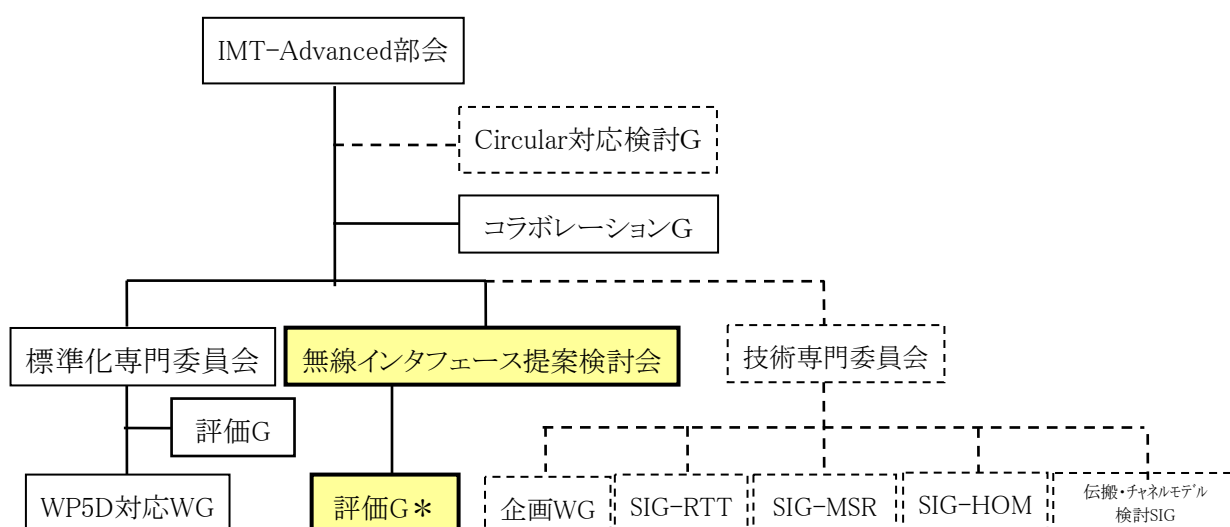
IMT-Advanced 無線インタフェース技術提案をITU-R で定めたプロセス及びその主旨に則り評価する評価グループを無線インタフェース提案検討会配下に設置する。具体的な活動は、自己提案の評価、自己提案の他者評価のエンドースメント、他者提案の評価等考えられるが、詳細は検討会で定める。

3. Circular 対応検討グループの解散について

Circular 対応検討グループは、これまで、Circular による提案募集に向けて、IMT-Advanced 部会としての検討、対応方針について検討を行って来たが、無線インタフェース提案検討会の設置をもって解散することとする。

4. 技術専門委員会の解散について

技術専門委員会は配下の各 SIG 活動を通じて、IMT-Advanced の技術的事項を中心に活動を進めてきたが、IMT-Advanced を対象とする技術検討活動の中心が、技術課題検討の段階から、無線インタフェース提案の検討、評価の段階に移行してきている状況を踏まえ、役割を既に果たしていると判断されることから、現在の各 SIG の活動の終了を以って、解散することを予定する。



*無線インタフェース提案検討会配下の評価Gは、標準化専門委員会配下の評価Gとは別の組織である。また、名称については部会において別途検討する。

以上